

(平成20年度実施事業)

事業評価表

事業CD. 0103102 - 04050

京都府南丹市

作成日: 平成21年05月12日

事業名	地域交流支援事業	事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助等	所管部署名等
細事業名	文化センター地域交流支援事業	委託先	<input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> 外郭団体 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> 教育機関 <input type="checkbox"/> 自治会・地縁団体 <input type="checkbox"/> その他 ()	市民部 市民課 担当: 今西良匡
事業区分	事業分類: (B) ソフト事業 政策体系CD: 411 <input type="checkbox"/> 新規事業 <input type="checkbox"/> 時限事業 (平成 年度迄)	関連法令・条例等	南丹市文化センター条例、南丹市文化センター運営審議会規則	

【事業の概要】

- ①施策で目指す目標との関連付け
地域及び周辺地域の住民の社会的、経済的、文化的向上を図り、生活上の課題やさまざまな人権課題の解決に資するために講座の開設、就労相談等さまざまな相談事業や生活改善事業を実施する。
- ②事業を実施する必要性
地域及び周辺地域の住民の社会的、経済的、文化的向上と人権問題の早期解決のために必要である。
- ③未実施事項
おおむね計画通りに実施できたが、講座等の幅広い受講生の募集ができなかった。

【事業費の推移】

	単位	平18決算	平19決算	平20決算	平21予算	平22計画
決算額または計画額	千円	920	757	729	757	757
うち一般職、嘱託職、臨時職給与および共済費等	千円	0	0	0	0	0
財源内訳	使用料・手数料等	千円	0	0	28	0
	国・府支出金	千円	0	0	350	0
	地方債	千円	0	0	0	0
一般財源	千円	920	757	351	757	757
職員等従事人員	人/年	—	—	0.20		
人件費	千円	—	—	1,171		
事業費総額	千円	—	—	1,900		

【主な支出の内訳】

講座開催事業	620千円 (講師料等)
文化祭開催	109千円 (消耗品等)

【近隣市町村の取り組み状況】

亀岡市において同様の事業が実施されているようである。

【前年度の評価を受けて改善した点等】

地域及び周辺住民の方々が集うセンターとして幅広く活用されるようになった。

【所属長総括評価】

- 有効性・効率性を向上させるため、担当職員と議論を重ねた点
交流促進講座の今後の方向性について会議を行った。
- 当該事業のアピール事項
講座を通じて人権問題解決の早期解決に努めた。
- 反省点、今後の展開・方向性等
住民のニーズにあった講座の広域的な展開が必要である。

事業活動記録

平成20年度実施事業

政策体系CD	411	事業名	地域交流支援事業		
事業CD.	103102-04050	細事業名	文化センター地域交流支援事業		
所管部局	市民部	所管課	市民課	担当	今西 良匡

103102-04050

区分	活動内容	活動日または時期	活動結果
仁江文化センター	生花教室 生花の技術習得	月1回	生花を通じて教養・文化の向上を図るとともに交流を深めた。
埴生文化センター	生花教室 生花の技術習得	月1回	生花を通じて教養・文化の向上を図るとともに交流を深めた。
	書道教室 書道の技術習得	月2回	書道を通じて教養・文化の向上を図るとともに交流を深めた。
半田文化センター	半田文化祭 文化祭を通じて、各地域の文化の発表や展示を行い交流を深めるとともに、交流を深める。 ステージ発表、作品展示、工作教室	平成20年11月24日	ステージ発表や作品展示、工作教室などを行ったことにより、各地域の交流が深まり、人権意識の高揚につながった。
	生花教室 生花の技術習得	月1回木曜日	生花を通じて教養・文化の向上を図るとともに交流を深めた。
	書道教室 書道の技術習得	月2回火曜日	書道を通じて教養・文化の向上を図るとともに交流を深めた。
	手芸教室 手芸の技術習得	月2回金曜日	手芸を通じて教養・文化の向上を図るとともに交流を深めた。